



退任

異動のごあいさつ

●小児科 杉田 和也 (すぎた かずや) 先生



2023年4月より赴任した小児科・アレルギー科の杉田 和也と言います。

アレルギー疾患および小児医療を三重県および近隣の他県からの患者さんのみなさまから多くの事を勉強させていただきました。また、当院職員のみなさま、地域医療を支えている医療関係者の皆様方に教えていただきました。皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。

今後私は出身の関東に戻り、東京都の小児クリニックで勤める予定です。

この病院で経験させていただいた事を生かして医療で少しでも貢献できるように引き続き励んでいきたいと思います。

2年間ありがとうございました。

●小児科 一木 洋祐 (いちぎ ようすけ) 先生



2023年4月から2年という大変短い期間でしたが、アレルギー科の先生をはじめ、小児科の先生方、コメディカルスタッフの皆様、患者さんやご家族の方々にも良くしていただき大変有意義な期間を送ることができました。

教科書や人伝に聞くことでしか知り得なかった治療方法を沢山経験できたことが特に大きかったと感じています。また、この病院に来なければ経験できなかったであろう海外での発表の機会を持つことができたのは人生においても大きな経験になりました。

4月からは地元の埼玉県に戻り、地域のアレルギー治療に貢献していきたいと考えています。

三重県での生活も大変気に入りましたので、いつか戻って来られる機会があればと考えています。

短い間でしたが、ありがとうございました。



新しいメンバーになった最初の4月の制作活動として、「こいのぼり」の制作を行いました。習字紙に色水を染め、色とりどりの染め紙をつくりました。これがどんな「こいのぼり」になったかは、5月のギャラリー展示を見てくださいね。お楽しみに!!

(保育士 橋本ひろみ)



通所支援事業の ひとコマ

若葉のまぶしい季節となりました。通所支援では新しい(というかお久しぶりの)利用者さんや新しいスタッフをお迎えして、にぎやかに新年度を迎えました。

4月のつうえんでは、お天気のよい日にお散歩をしたり、制作活動でこいのぼりや小鳥などの季節感のある飾り作りをしたりしました。お散歩のときは満開の桜を見たり、中庭の菜の花やパクチー、ミントを摘んだり、2病棟の患者さんが育てている花壇までチューリップを見に行ったりして春を満喫しました。制作活動ではおなじみのデカルコマニーという技法を用いて、こいのぼりのうろこを絵の具で表現しました。スタッフに声をかけてもらいながら色を選んだり、筆を握ったり、できあがった模様を見て歓声をあげたり、にぎやかに活動を進めていました。完成したこいのぼりは売店横に展示していましたが、ご覧いただけただでしょうか。これからも定期的に作品展示を行っていきますのでお楽しみに。

(療育指導室長 村松 順子)



5病棟の生活のひとコマ

いつ咲くかいつ咲くかと心待ちにしていた中庭の桜が満開になり、あっという間に葉桜になりました。5病棟の患者様たちは桜を見に散歩に出かけ、春のあたたかさを感じる様子や、日差しのまぶしさや春の風に目を細める様子がみられました。さて、4月1日より5病棟の療育指導室のメンバーが変わり、児童指導員1名と保育士1名の2名体制になりました。患者様の生活に寄り添い、患者様の生活が彩りある楽しいものになるよう2人で力を合わせ頑張っていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

(保育士 橋本 ひろみ)

今月のみえツうちん



とってもカラフルな「みえツうちん」のぬり絵をありがとうございました。

みなさまも、どしどし応募してくださいね。

◀《なほさん》